

はじめに

ここに、シリーズ第16冊目となる「地方財政レポート2016 新しい地方財政の展望 『アベノミクス』を超えて」を刊行する。

まず、触れなければならないのは、発刊時期の大幅な延引である。

大半の原稿は、予定通りの期日で執筆されたにもかかわらず、事務局の不手際で編集作業が遅滞したことにより、このような事態に立ち至ってしまった。この間に、アメリカ大統領選挙が行われるなど、国内外の政治経済状況は目まぐるしく変化をくり返している。それらを十分に反映し切れていないとすれば、その責任は、ひとえに事務局にある。

地方財政研究会では、引き続き、いわゆる「アベノミクス」に焦点を当て、各委員の専門領域から批判的に研究を重ねてきた。本書は、それらを「日本経済の動向と地域」（第1章）、「税制改正と社会保障改革」（第2章）、「地方財政計画と自治体の行財政」（第3章）としてまとめたものである。

「新しい地方財政の展望」は、現状の客観的な理解からしかスタートしない。それが、副題を「アベノミクス」とした意味である。本書が、多くの読者にとって新たな展望への出発点となることを願ってやまない。

2017年6月

公益財団法人 地方自治総合研究所

地方財政研究会メンバー および執筆分担

田中 信孝	(元岩手県立大学教授)	第1章
町田 俊彦	(専修大学名誉教授)	第1章
石原 健二	(元立教大学特任教授)	第1章
中村 良広	(熊本学園大学教授)	第2章
兼村 高文	(明治大学教授)	第2章
横山 純一	(北海学園大学教授)	第2章
菅原 敏夫	(地方自治総合研究所研究員)	第2章
高木 健二	(前地方自治総合研究所研究員)	第3章
飛田 博史	(地方自治総合研究所研究員)	第3章
星野 泉	(明治大学教授)	第3章
澤井 勝	(奈良女子大学名誉教授)	第3章
沼尾 波子	(東洋大学教授)	第3章